

テレビ静岡 平成 26 年 9 月度 番組審議会概要

平成26年9月11日(木)
14時00分～15時00分
テレビ静岡本社

— 出席委員 —

谷澤 清(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 高木 正和
石田 美枝子 木村 精治 澤田 敬介 藤田 尚徳

— 議 題 —

番組名 世界遺産2年目の宿題 ～“安全”へのルートを探して～

放送日時 平成26年7月21日(月)
15時55分～16時50分(55分番組)

— 番組内容 —

今日の番組審議会は7月21日(月)に放送された、報道番組「世界遺産2年目の宿題 ～“安全”へのルートを探して～」について審議した。

番組は、世界遺産となった富士山について、登山の安全性を含め、この1年で何が変わり、何が変わらなかったのかを検証し、今後の課題を考える内容。

— 審議概要 —

- ◎「富士山の四季の映像はとても美しく、見ごたえがあった」
- ◎「登山事故防止のための心得を映像で伝えていたので、説得力があった」
- ◎「登山の際の服装、装備、植物鑑賞の仕方など、解説があって、ためになった」
- ◎「世界遺産を継続させることの難しさが良く分かる内容」
- ◎「放送時間帯、ナレーション、リポーターが良く、落ち着いて見ることができた」

- ◎「CM前に、次の内容がテロップで予告表記されていたので、分かりやすかった」
- ◎「富士山が信仰の山でもあることなど、文化的な遺産であることを、改めて認識させられた」
- ◎「医師のインタビュー、救命方法などの紹介で、富士山をあまく見てはいけないという警鐘番組になったと思う」
- ◎「世界遺産がゴールではなく、出発点であることを感じさせられた番組」
- ◎「登山に焦点を当てすぎていた。富士山の文化的、芸術的検証が少なかったのは残念だ」
- ◎「ユネスコから与えられた課題について、今後どうすれば良いか、もっとしっかり伝えるべきではないか」
- ◎「静岡 v s 山梨（開山の違いなど）にもっと踏み込んで欲しかった。利害関係のない人へのインタビューを出せば公平であり、効果的」
- ◎「保全協力金、入山料などは徴収ありきの状態。具体的な問題提起が必要」
- ◎「登山事故で、救助にかかる税金や自己負担金などを紹介すれば、さらなる警鐘となった筈だ」
- ◎「サブタイトル ～“安全”へのルートを探して～ は意味が良く分からないし、結果として、ポイントがずれていたように感じる」

次回の番組審議会は平成26年10月9日(木)の予定。